

八幡仏教会報

第16号

発行所
岐阜県郡上市八幡町
八幡仏教会発行責任者
会長 浅野真頭八幡仏教会ホームページ
<http://www.8butsu.jp>

同じ月を眺めて

八幡仏教会会長

浅野 真頭(洞泉寺)

夜空を見上げると、いつも月は変わることなく私たちを照らしてくれています。

古来、多くの日本人が輝く月を眺め、さまざまな表現をしてきました。「天の原ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に出でし月かも」という『百人一首』に収められているこの歌は、今から一三〇〇年前、遣唐使の阿部仲麻呂が、かの地で詠んだと伝わっています。「この広い空を仰ぎ見ると 故郷の大和国(奈良県) 春日にある三笠山の上に浮かんだ月と 今見ている月は同じなのだな」という思いが込められているそうです。

浄土宗をお開きになった法然上人も月を取り上げて歌を詠まれています。「月かげの いたらぬさとは なけれども ながむる人の 心にぞすむ」この歌には、「どんなに遠く離れていようと どこにいても 月を眺める人にその光が等しく届くように 阿弥陀様の慈悲の光も 全ての世界を照らし お念仏を唱える人を平等に救ってくださる」ということが示されています。阿部仲麻呂も法然上人も、はるか昔のお方です。しかしお二人が眺めていた月と私たちが眺める月は、時代も場所も異なりますが、同じ月に他ならないのです。



阿弥陀さまは、はるか過去より計りしれない未来まであらゆる場所に生きる私たちをも分け隔てなく照らして下さいます。しかし、月の輝きに気づかず、通り過ぎてしまったら、いつまでも月を見ることはできないように、阿弥陀さまの救いに気が付かなければ、まことに残念でもったいないことです。阿弥陀さまは「わが名を呼べ」と仰せになりました。「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで、必ず私たちを照らして、やさしくお導きくださるのです。阿弥陀さまの見守りとはこの世においても常に寄り添い、何があってもお浄土に救い取ると願って見えるのです。

夜空に輝く「同じ月」を眺めながら、私たちもお念仏をお唱えしましょう。

大悲「大いに悲しまれているこの私」

八幡仏教会副会長 玉腰 秀樹(浄因寺)

「如来大悲の恩徳は」これは浄土真宗の開祖「親鸞聖人」が残された歌の一節です。浄土真宗(お東)のお寺では、法座・お参りの最後に皆で手を合わせて「恩徳讃」として歌ったり、年に一度の報恩講「親鸞聖人の御命日の法要」では、結びの歌「結讃」として、何人ものお坊さんの中から、その役にあたった一人がソロで、全力を振り絞り、限界の声で叫び、その後に続いて全員のお坊さんも「身を粉にしても」とまた全力・全身でお勤めする一節です。

それでは如来大悲の「大悲」とは何を私たちに問いかけているのでしょうか。漢字をそのまま読むと「大きな悲しみ」です。

如来様は、仏様は、真実の大いなるはたらきは、いつも私たちの有りようを見つめ、本当にそれでいいのか、その生き方でいいのかと、問い、寄り添い、時に「大きな悲しみ」を抱いておられると感じます。

世界情勢、政治のあり方、マスコミ、SNS、毎日の日暮らし、本当の有りように心を向けず、大切なことを後回しにして、争い欲望につき進む私たち。

いつも寄り添い、何があっても、捨てず共に悲しむ、真実の大いなるはたらき「大悲」が、本来の人間のつながり、有りよう、生き方を、問い続けているのです。「大いに悲しまれているこの私」の自覚が、いつの時代も人間を回復していく道だと考えます。

令和七年度

暁天の集い予定表

七月二十八日(月)	洞泉寺	八月三日(日)	悟竹院
七月二十九日(火)	慈恩寺	八月四日(月)	浄因寺
七月三十日(水)	願蓮寺	八月五日(火)	長敬寺
七月三十一日(木)	最勝寺	八月六日(水)	大乘寺
八月一日(金)	善光寺	八月七日(木)	蓮生寺
八月二日(土)	安養寺	八月八日(金)	楊柳寺

※朝六時頃開始／六時四十五分頃

役員改選のお知らせ

(敬称略)

事務局長
会 計石神 真(願蓮寺)
鷺見 光義

事務局長・会計について、役員より
推挙しましたところ、四月二十四
日開催の八幡仏教会世話人総会に
於いて、ご承認頂きました事を、こ
こでご報告させて頂きます。今後と
もよろしくお願い致します。

令和七年度

主な事業予定

五月十一日(日)

花祭りパレード

七月二十八日(月)～八月八日(金)

暁天の集い

八月十七日(日)

灯籠流し

九月十六日(火)

追弔会

令和七年度役員

令和七年度の役員は、次のとおりです
(順不同)。ご苦勞様ですがよろしくお
願いいたします。

会 長

浅野 真顯(洞泉寺)

副会長

千葉 謙(長敬寺)

事務局長

玉腰 秀樹(淨因寺)

会 計

鷺見 光義

総務部長

山下 健一

事業部長

服部 純一

教化広報部長

服部 貢一郎(善光寺)

監 事

筒井 淳美

理 事

和田 勝介

寺 院

川上 朝史

稲村 隆元(悟竹院)

川岸 承翁(楊柳寺)

楠 智広(安養寺)

高橋 教雄(大乘寺)

多田 克次(最勝寺)

東 理隆(慈恩寺)

中島 密慈(遍照殿)

毛利 信順(蓮生寺)

町内世話人(六月二十日現在)

上 桜町	上 田尻浩	下 日吉町	大前 三郎
下 桜町	兼松 忍		朝日 令子
上 柳町	野田 礼行		古田 博之
中 柳町	長尾 和生		篠田 節子
上 柳町	三島 洋		和田 美智也
下 柳町	和田 紘一		鷺見 光義
中 柳町	山内 幸彦		加藤 幸也
下 柳町	前田 伊三夫		奥村 嗣郎
職 人町	横枕 良一		足立 正
鍛冶屋町	田中 眞理		河合 宏幸
大 手町	川上 朝史		杉山 弘恭
本 町	天野 収一		坪井 純一
肴 町	加藤 一朗		服部 純一
上 尾崎町	谷合 美昭		宇佐見 芳和
下 尾崎町	細江 儀憲		加藤 克久
向 京町	近藤 政夫		鷺見 宏康
左 京町	和田 肇		田中 宏隆
常 盤町	大石 和則		青木 秀人
北 朝日町	池田 司		和 田 美谷孝
南 朝日町	富田 博文		藤田 武司
上 愛宕町	本田 あけ美		清水 幹夫
中 愛宕町	山田 哲生		大坪 重弘
下 愛宕町	加藤 孝雄		石井 孝裕
川 原町	筒井 淳美		足立 正浩
立 姫町	小坂 興平		小林 豊人
乙 姫町	川端 憲彦		寺脇 公平
山 本町	山下 健一		浜口 民男
東 町二区	和田 洋一		平瀬 忠寿
橋 本町	吉田 新一郎		山田 茂登子
新 本町	清水 俊夫		和 田 正博
稲 荷町	松島 千年		松野 恵
大 坂町	和 田 勝介		三島 健太郎
上 日ノ出町	山田 修		洞戸 行夫
下 日ノ出町	寺脇 美枝		三島 修
上 日吉町	山田 保雄		酒井 智義
			鎌倉 要一
			後藤 千廣
			餌取 評八

令和7年度八幡仏教会予算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

【収入の部】

科 目	前年度実績	予 算 額	備 考
繰 越 金	1,442,339	1,277,150	
会 費 収 入	586,500	550,000	会費500円×1,000戸分
事 業 収 入	130,931	118,000	
内 訳	花まつり	5,500	参加費100円×80人分
	灯籠流し	83,431	灯籠申し込み1,000円×70基分
	追 弔 会	42,000	志納金等
	暁天の集い	0	
雑 収 入	543	500	
積立金取り崩し	0	0	
合 計	2,160,313	1,945,650	

【支出の部】

科 目	前年度実績額	予 算 額	備 考
事 業 部 費	516,046	531,000	
内 訳	花まつり	114,560	ポスター、チラシ、布施、供物、参加費他
	灯籠流し	272,283	ポスター、チラシ供物、布施、供物他
	追 弔 会	108,540	布施、供物他
	暁天の集い	20,663	ポスター、チラシ、13ヶ寺めぐり皆勤費他
総 務 部 費	0	150,000	
教化広報費	50,600	60,000	サーバ利用料、会報他
事 務 費	71,957	80,000	通信費、事務用品他
会 議 費	82,400	90,000	常任理事会、世話人会
渉 外 費	123,000	130,000	市仏教会費、倉庫土地借料、香典、供花他
備 品 費	39,160	0	
予 備 費	0	904,650	
次年度繰越金	1,277,150	0	
合 計	2,160,313	1,945,650	

令和6年度八幡仏教会収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

【収入の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
繰 越 金	1,442,339	1,442,339	0	
会 費 収 入	600,000	586,500	△13,500	1173戸(うち前年度分17戸)
事 業 収 入	140,000	130,931	△9,069	
内 訳	花まつり	10,000	5,500	参加費=55人
	灯籠流し	90,000	83,431	参加者=72基
	追 弔 会	40,000	42,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0	
雑 収 入	0	543	543	預金利息
積立金取り崩し	0	0	0	
合 計	2,182,339	2,160,313	△22,026	

【支出の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
事 業 部 費	630,000	516,046	113,954	
内 訳	花まつり	200,000	114,560	85,440
	灯籠流し	300,000	272,283	27,717
	追 弔 会	110,000	108,540	1,460
	暁天の集い	20,000	20,663	△663
総 務 部 費	0	0	0	
教化広報費	70,000	50,600	19,400	サーバ利用
事 務 費	100,000	71,957	28,043	通信費、事務用品ほか
会 議 費	100,000	82,400	28,043	
渉 外 費	150,000	123,000	27,000	市仏教会費 倉庫土地借料、香
備 品 費	100,000	39,160	60,840	折りたたみ椅子
予 備 費	1,032,339	0	1,032,339	
小 計		883,163	△883,163	
繰 越 金		1,277,150	1,277,150	
合 計	2,182,339	2,160,313	22,026	

積 立 金	定期貯金	1,151,471(元利合計額)	15年経過
-------	------	------------------	-------

上記のとおり報告します。
令和7年3月28日 八幡仏教会 会計 本田 あけ美

監査の結果 正確であることを認めます。
令和7年3月28日 八幡仏教会 監査 筒井 淳美
監査 和田 勝介

役員改選で事務局長と
会計が新しくなりました。
前任のお二人には長年に
渡り八幡仏教会を支えて
いただきありがとうございました。
見こ要望等ございましたら、柳町 善光寺までご連絡ください。次回の参考にさせていただきます。
(ぜ)

《あとがき》